
令和7年度荷役作業合同安全パトロールを実施！

～ 労働災害防止団体と労働基準監督署長で実施 ～

川崎南労働基準監督署

当署管内には、首都高速道路湾岸線に直結する物流拠点として、東扇島地区などに多くの陸上貨物運送事業の事業場があり、トラックの荷台等における荷役作業中の墜落や転倒、はさまれなどの労働災害が多発しており、陸上貨物運送事業労働災害防止協会が実施している「陸上貨物運送事業年末・年始労働災害協調運動」に併せて合同パトロールを実施し、労働災害防止の取組を確認しました。

実施日 令和7年12月1日（月）

場 所 川崎市川崎区南渡田町1-1
株式会社ロジスワークス 川崎流通センター

事業概要 電線ケーブルの保管、電線切分、関東エリアへの共同配送をメインに全国輸配送を行っている拠点で、荷の受け入れ、出荷などの荷役作業にフォークリフトを用いています。

実施者 川崎南労働基準監督署長
陸上貨物運送事業労働災害防止協会神奈川県支部川崎南分会長



写真左は、陸災防 川崎南分会長 写真右は、川崎南労働基準監督署長

労働災害防止の好事例



作業場所への入口に安全に関する五箇条などを掲示し安全について周知等しています。



リスクアセスメントの実施結果を通路に掲示し、見える化を推進しています。



AGV の導入



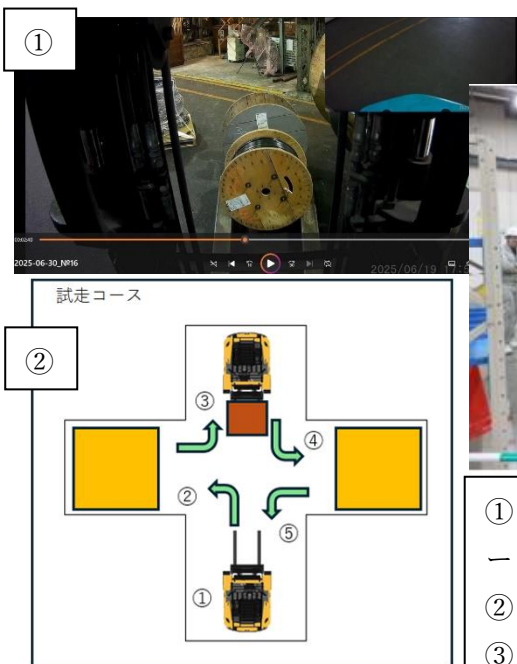
AGV と通路の交差部の
停止バー



フォークリフトの停止位置にプロジェクターによる停止表示（ペイントによる表示は剥がれのリスクはあるがこちらはそのリスクはない）



トラック荷台への昇降設備
（路面に滑り止め加工有）



- ①フォークリフトのドライブレコーダーを用いた教育
- ②フォークリフト評価会（年1回）
- ③フォークリフトコンテスト（年1回）